

高齢者の暮らしを支えるサービス

地域密着型サービスは、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域でできる限り自立した日常生活を送れるよう支援するサービスです。ここでは、あまり知られていない3つのサービスを紹介します。

問合せ 高齢者支援課 (☎372-3311・内線2163)

地域密着型サービス

- 地域密着型通所介護（デイサービス）
- 認知症対応型通所介護（デイサービス）
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 夜間対応型訪問介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期的な巡回サービスと、利用者の必要に応じて随時対応するサービスがあり、24時間365日利用できます。

自宅訪問では、介護スタッフと看護師が連携することによって、さまざまな視点から支援を受けることができます。食事や入浴など、その方にとって必要なケアを、必要なタイミングで受けることができます。要介護1～5の認定を受けた方が対象です。

利用料金は、1カ月ごとの定額制です。

小規模多機能型居宅介護

施設への「通い」を中心に、自宅への「訪問」や短期間の「宿泊」を組み合わせ、生活支援や機能訓練をひとつの事業所で受けることができる、在宅の介護サービスです。

利用料金は、1カ月ごとの定額制です。

● **通い** 1日を通して利用したり、食事や入浴などに数時間だけ利用したりすることもできます。

● **訪問** 必要な時に必要な量の支援を受けることができます。身体的な介護のほか、安否確認や服薬、散歩の付き添いなどのために短時間だけ利用することもできます。緊急時には、昼夜問わず駆けつけてもらうことができます。

● **宿泊** 通いで利用した施設にそのまま宿泊したり、本人の体調不良や家族の急用など、緊急時に利用したりすることができます。

看護小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護のサービスに加え、病気療養中の方が必要に応じて訪問看護の提供を受けることができる介護サービスです。



○ メリット

- 利用者の環境や健康状態などに応じて柔軟なサービスが受けられる
- 看護師による医療面でのケアを受けられる

△ デメリット

- あまりサービスを利用しない人は、割高になる可能性がある

○ メリット

- 必要に応じて、通い・訪問・宿泊を組み合わせ利用することができ、それぞれ別の事業所と契約したり、ケアプランを作成し直したりする手間がない
- 同じスタッフが対応するので、利用者の心身の変化に気付くことができる

△ デメリット

- あまりサービスを利用しない人は、割高になる可能性がある
- 訪問介護や通所介護など、一部のサービスとの併用ができない

自分に合ったサービスを選びましょう

地域密着型サービスには、皆さんになじみのあるデイサービスなどのほかにも、さまざまな種類があります。生活の中で必要な支援の内容や回数などを専門家と相談しながら、利用するサービスを選びましょう。



高齢者支援課
角田紘希